

■L2-Techに関する設備・機器等のご提案の手引き

- ・本手引きは、「2019年度 L2-Techに関する設備・機器等の募集 募集概要」(以下、募集概要)のうち、「(3)提案方法」の入力・登録内容について示した資料です。
- ・情報の入力フォームは、大きく3種類(「L2-Tech情報プラットフォーム への入力情報」「様式1 CO2削減タイプのチェックリスト」「様式2 指標・クラス等 提案書」)に分かれます。また、本手引きでは主に「L2-Tech情報プラットフォーム への入力情報」および「様式2 指標・クラス等 提案書」についてその入力方法をまとめています。
- ・さらに入力・登録する情報は、募集概要2.(2)募集対象のア)～エ)ごとに異なります。本手引きの「該当する必要情報(募集対象別)」の欄をご確認の上、情報を入力・登録してください。

※プラットフォームの操作は、別紙「L2-Tech情報システム 操作手順書(メーカー・業界団体)」のP.5～39を参照してください。

【凡例】
 <該当する必要情報(募集対象別)>
 ア): リストへの新規追加または更新
 イ): リスト及び水準表の新規同時追加
 ウ): 水準表への追加
 エ): 水準表の更新
 <募集対象ごとの情報の要否>
 ○: 情報提供が必要
 - : 情報提供は不要
 △: ご提案内容に応じて適宜入力が必要

該当する必要情報(募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
				1	◆L2-Tech情報プラットフォーム		
				2	区分		
○	○	○	○	3	区分	■ア)、イ)の場合 CO2排出源、またはエネルギー供給源、及び技術の原理・しくみに基づき選択してください。	【選択肢】 ※L2-Tech情報プラットフォーム上のプルダウンを参照のこと
○	○	○	○	4	部門	■ウ)、エ)の場合 当該設備・機器等のL2-Techリストの区分を選択してください。	
○	○	○	○	5	技術分類	※部門は部門1、2まで、技術分類は技術分類1まで選択必須	
				6	設備・機器等		
○	○	○	○	7	設備・機器等の名称	■ア)、イ)の場合 提案する設備・機器等の一般名称を入力ください。特定の商品名ではなく、誰が見ても違和感・誤解なくわかる名称となるよう留意してください。 (業界団体が使用している、または複数社、大手企業が使用している名称等) ■ウ)、エ)の場合 「L2-Techリストに掲載済み」と入力してください。	【入力例】 [例1] ○ ルームエアコン / × エアコン [例2] ○ 水冷媒ターボ冷凍機 / × 自然冷媒ターボ冷凍機 ※「自然冷媒」の場合、冷媒となる物質が特定できないため
○	○	○	○	8	原理・しくみ	以下2点を含み、全体で100～200字程度で簡潔に入力してください。 (1) 設備・機器等の定義 :どのような部材等構成され、どのような仕組みで、どのようなサービス*を提供するのか * サービス: エネルギーを消費することで得られる効用(利用者が得る主観的な満足)を提供するための働き。例.) 温風、温水、照明、冷蔵、走行 等 (2) CO2削減に資する原理・しくみ :なぜCO2削減効果及び導入可能性が高いか	【入力例/例1の場合】 燃焼室、電熱面、熱交換器からなる。燃焼によって温められた熱媒水と給水管の水とを熱交換させ、その温水を取り出して利用する機器。熱媒水を真空状態に密閉した状態で沸騰させる真空式と、熱媒水を大気に開放した状態で温める無圧式が存在する。従来型と比較し低温の燃焼ガスから効率的に熱回収が可能な高効率型の温水機が存在し、ホテル、温浴施設や温水プール等で幅広く使用されている。

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
○	○	-	-	9	導入パターン	<p>提案いただく設備・機器等のCO2削減効果を測るための基準値を設定するために、当該設備・機器等の導入パターン(更新/代替/付加)と、比較対象となる設備・機器等(現在普及している設備・機器等)を設定します。 [導入パターン]は、更新、代替、付加のいずれかから選択し、[比較対象とする設備・機器等]には設備・機器等の名称を入力します。</p> <p>(導入パターンの説明 と 導入パターンごとの比較対象となる設備・機器等) ※「→」の左側に該当する設備・機器等が比較対象となる設備・機器等</p> <p>代替:性能の高い別の設備・機器等に代替するケース (例:ガソリン自動車 → ハイブリッド車等)</p> <p>付加(新規):CO2削減に寄与する設備・機器等を新たに付加するケース。または、断熱材のない家に断熱材を追加するようなケース (例1:住宅 → 住宅+HEMS、例2:太陽電池 → 太陽電池+蓄電池システム)</p>	<p>【選択肢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新 ・代替 ・付加
○	○	-	-	10	比較対象とする設備・機器等	<p>付加(代替):既に付加されている設備・機器等をより性能の高い別の設備・機器等に代替するケース (例:ルームエアコン+Low-E複層ガラス・樹脂サッシ → ルームエアコン+Low-E複層(五層)ガラス・樹脂サッシ)</p>	<p>【入力例】 ※左記の例の場合、それぞれ次のとおり入力する。</p> <p>[代替] ガソリン自動車 [付加(新規)] 住宅 [付加(代替)] ルームエアコン+Low-E複層ガラス・樹脂サッシ</p>
				11	L2-Tech選定の観点		
○	○	-	-	12	A-1 CO2排出量(部門2) 値[単位]	<p>以下の出典を参考に、該当する部門のCO2排出量を入力してください。 ※区分「F. 廃棄物・リサイクル」の場合は入力不要です。 (出典候補)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスインベントリ http://www-gio.nies.go.jp/aboutghg/nir/nir-j.html ・官公庁公表情報 例)長期エネルギー需給見通し 関連資料 http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitoshi/pdf/report_02.pdf ・各業界団体による公表情報 	<p>【入力例】</p> <p>《例1 家庭部門の空調》 8,100[万t-CO2/年] 《例2 業務部門の空調》 6,827[万t-CO2/年] 《例3 産業部門の動力》 103[万t-CO2/年]</p>

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
○	○	-	-	13	A-1 CO2排出量(部門2) 算出根拠	<p>計算方法等、算出方法を入力してください。 ※区分が「F. 廃棄物・リサイクル」の場合は、入力不要です。</p> <p>また、部門のCO2排出量と相関があると考えられる主な要因(活動量)についても入力してください。さらに可能な範囲でその値の2030年、2050年の予測値も入力してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※活動量の参考※ 部門のCO2排出量と相関のある主な要因(活動量):人口 活動量の現在値(2015年):127,095(千人) 活動量の予測値(2030年):119,125(千人)</p> </div>	<p>【入力例】</p> <p>《例1 家庭部門の空調》 $C1+C2+C3=3,600+700+3,800=8,100$[万t-CO2] C1:家庭部門の暖房のCO2排出量*1 C2:家庭部門の冷房のCO2排出量*1 C3:家庭部門の給湯のCO2排出量*1 *1根拠資料①:本資料は、2013年度の家庭部門の暖房・冷房・給湯のCO2排出量の根拠を示している</p> <p>《例2 業務部門の空調》 $S \times (C1+C2)=184,500 \times (0.021+0.016)=6827$[万t-CO2] S:業務総床面積[万m2]*1 C1:暖房の床面積あたりのCO2排出量[t-CO2/m2]*2 C2:冷房の床面積あたりのCO2排出量[t-CO2/m2]*2 *1根拠資料②:本資料は、2013年度の業務総床面積の根拠を示している *2根拠資料③:本資料は、2013年度の業務その他部門の暖房・冷房の床面積あたりのCO2排出量の根拠を示している</p> <p>《例3 産業部門業種共通の動力》 $E \times C=18.7$(億kWh/年) \times 0.000551(t-CO2/kWh)=103[t-CO2/年] E:2013年度の冷凍倉庫業界の電力使用量*1 C:2013年度の電力のCO2排出係数(代替値)*2 *1根拠資料③:本資料は、2013年度の冷凍倉庫業界の電力使用量の根拠を示している *2根拠資料④:本資料は、2013年度の電力のCO2排出係数(代替値)の設定根拠を示している</p>
○	○	-	-	14	A-1 CO2排出量(部門2) 出典	<p>部門のCO2排出量の入力にあたり参照した出典(該当箇所)は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32の手順に沿って添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。 ※区分が「F. 廃棄物・リサイクル」の場合は、入力不要です。</p>	<p>【入力例】</p> <p>ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチラー_CO2排出量(部門2) URL: http://l2-tech.force.com/</p> <p>ファイル名: 表1-1 総数, 年齢3区分(0~14歳, 15~64歳, 65歳以上)別総人口および年齢構造係数 URL: http://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2017/db_zenkoku2017/db_s_suikeikekka_1.html</p>

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
○	○	-	-	15	A-1 CO2排出量(設備・機器等) 値 [単位]	比較対象の設備・機器等のCO2排出量が、部門内で相対的に多いといえるかを確認するため、比較対象の設備・機器等のCO2排出量を入力してください。 ※将来予測も可としますが基本的に現在の数値を提示した上で2030年、2050年の予測値を入力してください。	【入力例】 《例1 導入パターンが「代替」》 既設の機器との差分に基づきCO2排出量を計算する場合 [値]62,500 [t-CO2/年:現在時点]、[t-CO2/年:2030年将来予測]、[t-CO2/年:2050年将来予測] [算出根拠] $C_{category} \times D = 250,000 \times 0.25 = 62,500$ [t-CO2/年:2030年予測] Nie2017: 5,000[台] 現在時点の普及台数 Nie2030: 25,000[台] 2030年時点の普及台数予測 Nie2050: 90,000[台] 2050年時点の普及台数予測 (算出根拠の前提) Ccategory: CO2排出量: 上記A-1で示したCO2排出量(部門2)(t-CO2/年) D: 普及率D [%]: Nie対象とする機器の普及台数 [台]① / Nall市場全体の機器の台数 [台]② (必要となる出典) ①対象とする機器の普及台数についての根拠を示す資料 ②市場全体の機器の台数について根拠を示す資料
○	○	-	-	16	A-1 CO2排出量(設備・機器等) 算出根拠	上記の値の算出式を入力してください。 ※右記例にならって記載してください。	《例2 導入パターンが「代替」》 [値]62,500 [t-CO2/年・台] [算出根拠] $N \times C_{before} = 25,000 \times 2.5 = 62,500$ [t-CO2/年・台] (算出根拠の前提) N: 水冷ヒートポンプチャラーの市場全体におけるストックのうち、代替可能な製品の台数 [台] (100,000台のうち25%は代替可能なものであると試算①) Cbefore: 水冷ヒートポンプチャラーの1台あたりの年間エネルギー消費量から算出したCO2排出量 [t-CO2/年・台] ② (必要となる出典) ①水冷ヒートポンプチャラーのストックが100,000台であり、そのうち25%が代替可能である根拠を示す資料 ②水冷ヒートポンプチャラーの年間エネルギー消費量と、CO2排出係数の設定根拠を示す資料 《例3 導入パターンが「付加(新規)」》 [値]2,392,000 [t-CO2/年・台] [算出根拠] $N \times C_{before} = 17,940,000 \times 0.4 = 2,392,000$ [t-CO2/年・台] (算出根拠の前提) N: 本断熱材が、導入可能な住宅におけるルームエアコンのストック [台] (日本国内における一戸建て住宅が52,000,000戸であり、ルームエアコンの世帯当たりの保有台数が2.3台。このうち5%(寒冷地)の住宅に導入可能なものであると試算③) Cbefore: ルームエアコンの1台あたりの年間エネルギー消費量から算出したCO2排出量 [t-CO2/年・台] ④ (必要となる出典) ③本断熱材が導入可能な住宅におけるルームエアコンのストックが○台であり、そのうち○%が導入可能であることを示す資料 ④ルームエアコンの年間エネルギー消費量と、CO2排出係数の設定根拠を示す資料
○	○	-	-	17	A-1 CO2排出量(設備・機器等) 出典	上記の算出にあたって参照した出典(該当箇所)は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。	④ルームエアコンの年間エネルギー消費量と、CO2排出係数の設定根拠を示す資料 [出典] ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチャラー_CO2排出量(設備・機器等) URL: http://l2-tech.force.com/

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
○	○	-	-	18	A-2 削減原単位あたりのCO2削減効果 値[単位]	当該設備・機器等の導入によって、比較対象とする設備・機器等と比較して見込まれるCO2削減率を入力してください。 算出式「(導入前*) - (導入後) / (導入前*)」によって算出された値を入力してください。 * 導入前: 前述の「比較対象の設備・機器等」のCO2排出量	【入力例】 [値] 40% [算出根拠] $(C_{before} - C_{after}) / C_{before} \times 100[\%] = 3.5 - 2.1 / 3.5 \times 100 = 40$ (算出根拠の前提) Cbefore: 水冷ヒートポンプチャラーの年間CO2排出量[t-CO2/年・台] (①) Cafter: 間接気化冷却器の年間CO2排出量[t-CO2/年・台] (②) (必要となる出典) ① 水冷ヒートポンプチャラーのストックが100,000台であり、そのうち25%が代替可能である根拠資料 ② 水冷ヒートポンプチャラーの年間エネルギー消費量と、CO2排出係数の設定根拠を示す根拠資料 [出典] ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチャラー_原単位あたりのCO2削減効果 URL: http://l2-tech.force.com/
○	○	-	-	19	A-2 削減原単位あたりのCO2削減効果 算出根拠	上記の値の算出式を入力してください。	
○	○	-	-	20	A-2 削減原単位あたりのCO2削減効果 出典	上記の算出に使用した数値の出典は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。	
○	○	-	-	21	B-1 実用化可能性 説明	提案する設備・機器等に該当する製品について、技術熟度を右記より選択し、入力してください。	【入力例】 ① 商用化済み(量産化/水平展開) ② 商用化前(フィールド実証) ③ 商用化前(模擬実証) ④ 開発中(実用研究) ⑤ 開発中(応用研究) ⑥ 開発中(基礎研究)
○	○	-	-	22	B-1 実用化可能性 出典	上記選択の根拠となる資料(技術熟度の分かる、商用化資料等)は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。	【入力例】 ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチャラー_実用可能性 URL: http://l2-tech.force.com/

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
○	○	-	-	23	B-2 導入可能な範囲(汎用性) 説明	<p>当該設備・機器等の導入に向けて、「経済的課題」「社会的課題」「技術的課題」の観点で、それぞれについて想定される課題を入力してください。経済的課題については、基本的には下記説明①②③全てを基本的に求めますが、困難な場合は①と③、もしくは②と③で課題を説明してください。</p> <p>(経済的課題とは)</p> <p>①イニシャルコストの差 ②ランニングコストを踏まえた上での投資回収年数、に関する課題 ③クリティカルマス(自立普及に最低限必要な年間導入台数)</p> <p>(社会的課題とは)</p> <p>以下のような法律・制度、社会インフラに関する課題を指します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的受容:対象技術について認知され関連設備の導入について同意が得られる ・環境負荷:機器の導入による環境への影響 ・安全性:機器の導入や運用に際して想定される危険性への配慮 ・付加価値の検証:普及を大きく後押しするような付加価値について社会的認知度を高めるような検証 ・規制・ルール整備:機器の普及に対する規制や、普及を推進するためのルール整備 <p>(技術的課題とは)</p> <p>性能・コスト削減に関する技術開発の伸びしろに関する課題</p>	<p>【入力例】 (経済的課題) 従来製品(150万円)と比較し、1.5倍程度の価格である。ランニングコストを踏まえると、一般的に投資回収年数は10年程度となる。年間の導入台数が2000台程度に到達した場合、従来型の設備・機器等のイニシャルコストと同等になり、自立普及が見込める状態になると想定される。</p> <p>(社会的課題) ・水素ステーションの普及に向けては、高圧ガス保安法に対応する必要があるが、本設備・機器等(小型のステーション)に適合する法規が十分に整備されていないため、その整備が求められる。 ・燃料自動車の普及は、今後の水素ステーションの整備状況に依存する(燃料電池自動車の普及に向けては水素ステーションが十分に整備されている必要があるが、現時点では十分に整備されていない)</p> <p>(技術的課題) ・現時点で、本設備・機器等の廃熱回収率は高性能のものでも10%程度であるが、構造を改善することによりさらなる廃熱回収率の向上を見込むことができる。また、XXの部材が非常に高額であるため、別の素材への代替等により、コストカットに向けた研究開発を進めている。 ・風力発電の導入について、バードストライクの問題があり生態系への環境影響や発電停止を起こす問題があり、回避するための技術を開発する費用がある。</p>
○	○	-	-	24	B-2 導入可能な範囲(汎用性) 出典	<p>上記の根拠となる資料は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。</p>	<p>【入力例】 ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチラー_導入可能な範囲(汎用性) URL: http://l2-tech.force.com/</p>
				25	使用時のCO2排出要因別のCO2削減効果		
○	○	-	-	26	CO2削減に関する評価タイプ1	<p>様式1「CO2削減タイプのチェックリスト」を参照し、ご提案頂く設備・機器等のCO2削減タイプを特定し、選択してください。複数のCO2削減タイプに該当する場合は、3つまで選択可能です。</p>	<p>様式1「CO2削減タイプのチェックリスト」参照</p>
○	○	-	-	27	CO2削減に関する評価タイプ1 出典	<p>上記選択の根拠となる資料は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。</p>	<p>【入力例】 ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチラー_CO2削減に関する評価タイプ1 URL: http://l2-tech.force.com/</p>
				28	募集対象(ご提案内容)		
○	○	○	○	29	募集対象(ご提案内容)	<p>募集概要P.1の2.(2)募集対象として記載されている、ア)~エ)のいずれかを選び入力してください。</p>	<p>【入力例】 ア) リストへの新規追加または更新 イ) リスト及び水準表の新規同時追加 ウ) 水準表への追加 エ) 水準表の更新</p>

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
				30	L2-Techに関する設備・機器等の提案者		
○	○	○	○	31	提案者名(団体等名)	ご提案者の法人名(団体名等)を入力してください。	【入力例】 株式会社XXXX
○	○	○	○	27	提案者部署名	担当者の所属部署を入力してください。	【入力例】 パブリックセクター
○	○	○	○	28	担当者氏名	担当者の氏名を必ず入力してください。	【入力例】 恵瑠通太郎
○	○	○	○	29	担当者連絡先〒	担当者の所属先の郵便番号を、半角、“-”入りで入力してください。	【入力例】 100-6390
○	○	○	○	30	担当者連絡先 住所	担当者の所属先の住所を入力してください。	【入力例】 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビルディング
○	○	○	○	31	担当者連絡先 電話番号	担当者と連絡が取れる電話番号を、半角、“-”入りで入力してください。	【入力例】 03-6860-XXXX
○	○	○	○	32	担当者連絡先 E-mail	担当者と連絡が取れるメールアドレスを入力してください。	【入力例】 l2-tech@****.co.jp
				28	◆様式2 指標・クラス等 提案書		
				29	(1)指標		
-	○	○	△	30	性能測定単位・名称	当該設備・機器等の性能を測定する単位について、以下【測定単位の要件】を考慮の上、提案してください。 (測定単位の要件) 当該設備・機器等の性能を測定するための単位について、以下A)B)のいずれかに該当し、かつCO2排出削減効果を代替する測定単位であること。 A) エネルギー効率以外の測定単位であること。 B) 測定単位がエネルギー効率であるが、環境省以外の国の制度や事業の基準値の測定単位として使用されていないこと。	【入力例】 《例1》 [単位] - 、[名称] 成績係数(COP) 《例2》 [単位] % 、[名称] エネルギー消費効率 《例3》 [単位] W/(m・K) 、[名称] 熱伝導率 《例4》 [単位] W/m2K 、[名称] 熱貫流率
-	○	○	△	31	試験条件	性能を測定する際の試験条件・計算方法について、公平性が確保されていることに留意し、提案してください。	【入力例】 《例1》 [参照する規格] JIS C8715-1:2012、(名称)産業用リチウム二次電池の単電池及び電池システム 第1部:性能要求事項 《例2》 [参照する規格] JISB8621:2011、(名称)遠心冷凍機 《例3》 [参照する規格] JISA9521:2014、(名称)建築用断熱材 《例4》 [標準条件] 成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温度、熱風供給温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり設定することを条件とする。 空気入口温度:20℃ 熱風供給温度:100℃ 熱源水入口温度:30℃ 熱源水出口温度:25℃ [計算方法] COP=Φ/P (COP:成績係数、Φ:定格能力[W]、P:定格消費電力[W])
-	○	○	△	32	計算方法		

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例/選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
-	○	○	△	33	出典	<p>以下2点の根拠資料は、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。</p> <p>①提案した「測定単位」が上記(測定単位の要件)に合致していると考えられる根拠資料 ②「試験条件」「計算方法」が公正性が高いと考えられる根拠資料</p>	<p>【入力例】 ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチラー_指標 URL: http://l2-tech.force.com/</p>
				34	(2)クラス		
-	○	○	△	35	購買選択の条件となる要素	<p>「求められる機能や仕様等の条件を決める要素」、「求められる能力の境界を決める要素」についてそれぞれ入力してください。</p>	<p>【入力例】 [求められる機能や仕様等の条件を決める要素] 導入地域(周波数)、設置環境、用途(熱源・空調) [求められる能力の境界を決める要素] 法律、性能曲線、導入施設規模、庫腹量、設計負荷</p>
-	○	○	△	36	条件	<p>当該設備・機器等の能力や機能等について、導入者や利用者における購買の選択条件に基づいたクラスを提案してください。</p>	<p>【入力例】 《例1》 一般地仕様 標準世帯 保温機能有無 多缶</p> <p>《例2》 給湯専用機(給湯:ヒートポンプ・ガス) 風呂給湯兼用機(給湯:ヒートポンプ・ガス) 給湯暖房兼用機(給湯・暖房:ヒートポンプ・ガス)</p>
-	○	○	△	37	能力		<p>【入力例】 《例1 蓄電容量》 3kWh未満 3kWh以上5kWh未満 5kWh以上8kWh未満 8kWh以上10kWh未満 10kWh以上</p> <p>《例2 冷却能力》 200RT未満 300RT以上400RT未満</p> <p>《例3 貯湯容量》 320L以上550L未満</p>
-	○	○	△	38	出典	<p>提案いただいた条件・能力が、導入者や利用者における購買の選択条件に基づいていると考えられる根拠資料を、電子ファイル(PDF等)にし「L2-Tech情報システム操作手順書」P.24またはP.32に基づき添付(アップロード)してください。 添付する資料の「ファイル名(貴社名_設備・機器等の名称_必要情報項目名)」および「WebページのURL(Web公表データの場合)」を入力してください。</p>	<p>【入力例】 ファイル名: (株)L2-Tech_xxxチラー_クラス URL: http://l2-tech.force.com/</p>

該当する必要情報 (募集対象別)				#	必要情報	説明	入力例／選択肢
ア)	イ)	ウ)	エ)				
				39	(3) 環境省以外による支援に関する確認		
○	○	-	-	40	支援に関する確認	環境省以外の国の制度や事業において、開発・導入等の支援の対象となっているかどうか入力してください。 また、該当の制度・事業が存在する場合は、制度・事業の名称と所管省庁等の名称を入力してください。	【選択肢】 1. 環境省以外の国の制度や事業による支援の対象である 2. 環境省以外の国の制度や事業による支援対象ではない(知らない)
○	○	-	-	41	事業・制度の名称		【入力例】 平成29年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(省エネルギー投資促進に向けた支援補助事業のうちエネルギー使用合理化等事業者支援事業)」
○	○	-	-	42	所管省庁等の名称		【入力例】 経済産業省

L2-Tech
検索
 Sandbox: L2TFull

ホーム メーカー業界団体メニュー

マニファクチャー業界団体

システム操作手帳

L2-Techリスト情報(重点技術分野調査/提案)の編集

新規L2-Techリスト情報(重点技術分野調査/提案)

保存 保存&新規 キャンセル

L2-Techリスト情報(重点技術分野調査/提案)の編集

区分 I = 必須情報

区分

部門1 部門2

部門3 部門4

技術分類1 技術分類2

技術分類3 技術分類4

設備・機器等

設備・機器等の名称

原理・仕組み

導入/停止

比較対象とする設備・機器等

L2-Tech選定の観点

A-1CO2排出量(部門1) 値(単位)

A-1CO2排出量(部門1) 算出根拠

A-1CO2排出量(部門1) 出典

A-1CO2排出量(設備・機器等) 値(単位)

A-1CO2排出量(設備・機器等) 算出根拠

A-1CO2排出量(設備・機器等) 出典

A-2原単位あたりCO2削減効果 値(単位)

A-2原単位あたりCO2削減効果 算出根拠

A-2原単位あたりCO2削減効果 出典

B-1実現可能性 説明

B-1実現可能性 出典

B-2導入可能な範囲(汎用性) 説明

B-2導入可能な範囲(汎用性) 出典

L2-Tech水準表への掲載有無

使用時のCO2排出量削減効果

CO削減に関する評価 タイプ1

CO削減に関する評価 タイプ1 出典

CO削減に関する評価 タイプ2

CO削減に関する評価 タイプ2 出典

CO削減に関する評価 タイプ3

CO削減に関する評価 タイプ3 出典

主要メーカー

メーカー1 メーカー2

メーカー3 メーカー4

メーカー5 メーカー6

メーカー7 メーカー8

メーカー9

募集対象(C:提案内容)

募集対象(提案内容)

L2-Techに関する設備・機器等の提案者

提案者名(団体名称) 担当者署名

担当者氏名 担当者連絡先

担当者連絡先 住所 担当者連絡先 電話番号

担当者連絡先 E-mail

システム情報

所有者

保存 保存&新規 キャンセル

L2-Tech
検索
 Sandbox: L2TFull

ホーム メーカー業界団体メニュー

マニファクチャー業界団体

システム操作手帳

L2-Techリスト情報(重点技術分野一括登録)

重点技術分野一括登録

ステップ1: 登録用ファイルのダウンロード Excelファイルが利用できない場合はCSV2

登録用ファイル

ステップ2: ファイル選択

重点技術分野一括登録用CSVファイルを選択してください。

参照

ステップ3: ファイルアップロード

選択されたファイルをチェックします。

ファイルアップロード

ステップ4: データ取り込み

取り込み可否: 不可

データ取り込み